

# 令和4年度重点取組方針主要関連事業の取組状況について

## (1) 新たな時代に向けた人づくりの推進

- ①乳幼児期において自己肯定感や非認知能力等を育むため、その役割を担う幼稚園教諭・保育士等の資質能力の向上を図るなど、生涯にわたる人づくりの基礎を培う幼児教育・保育を充実

### 私立幼稚園地域子育て支援事業 <学事文書課>

12,922千円

#### 【事業内容】

幼児教育のセンターとしての役割を積極的に果たすため、私立幼稚園が実施する各種取組に対して助成することにより、地域における子育て支援を推進

#### 【取組の現状】

私立幼稚園に事業計画の提出を募り、教育の質の向上に向けた取組や地域における子育て支援の推進に関する取組に関して、34園からの応募を受け付け

### クリエイティブ・キッズ育成事業 <政策企画課>

10,400千円

#### 【事業内容】

子どもの創造力・表現力の育成を図るため、デジタルからアナログまで様々なツールを活用したワークショップを一堂に集めたイベントの開催等

- クリエイティブ活動情報の集約と発信
- ワークショップの質の向上
- ワークショップを一堂に集めたイベントの開催

#### 【取組の現状】

- 「こどものためのあそび×まなびカタログサイト@やまぐち」を運用中
  - ・県内企業や団体、個人等が行っている子ども向けのクリエイティブ体験活動の情報をとりまとめて情報発信中（登録数：32ワークショップ）
  - ・登録数の増加に向けて県内団体等に周知し、随時更新
- 「子ども向けワークショップのファシリテーター研修会」を開催予定
  - ・11月頃、ワークショップコレクション出展者、幼児教育・保育者関係者等を対象に開催予定（9月中旬、参加者募集を実施）
- 「ワークショップコレクション in やまぐち 2022」を開催予定
  - ・11月12日（土）～13日（日）の2日間、山口県セミナーパークで開催予定
  - ・5月23日～6月30日の間、出展者募集を実施し、約50コンテンツが出展予定
  - ・9月下旬に、幼児・児童および保護者を対象に参加者を募集予定（2日間で延べ4,000名）

## やまぐち未来アカデミア

### (セミナーパーク指定管理事業) <政策企画課>

13,230 千円

#### 【事業内容】

幼児・小学生を対象に、自己肯定感や非認知能力を高めるための幼児・小学生向けプログラム「キッズ・スクール」、「キッズ・スクール ミニ！」を実施

##### ○キッズ・スクール

場所：セミナーパーク 定員：20組（60名程度）

第1回 5月29日：農園教室（サツマイモの植付）

第2回 7月 3日：廃木材で秘密基地づくり、科学実験/保護者セミナー

第3回 10月16日：自然体験活動、LEGOブロックで森をつくろう

第4回 11月20日：食育体験プログラム、農園教室（サツマイモの収穫）

##### ○キッズ・スクール ミニ！

日程・場所：5月15日、セミナーパーク

定員：25組（75名程度）

内容：農園教室（玉ねぎ・ジャガイモ収穫）、昆虫教室

#### 【取組の現状】

○「キッズ・スクール」は、20家族が参加し、第1回、第2回を実施

○「キッズ・スクール ミニ！」は22家族が参加

### 保育人材スキルアップ支援事業 <こども政策課>

18,224 千円

#### 【事業内容】

平成30年度から施行された「新たな保育所保育指針」に基づき、保育士等のキャリアパスを見据えた体系的な研修のほか、地域の人材の掘り起しや知識等の習得を目的とした研修を実施することにより、資質向上を図るとともに、安定的かつ長期的な保育人材の育成・確保を推進

#### 【取組の現状】

7分野（食育・アレルギー対応、保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援、障害児保育、マネジメント、幼児教育、乳児保育）に係るキャリアアップ研修を開催し、285人が受講

集合研修：6～11月 各分野2回実施 定員75人/回

eラーニング：各分野定員150人

### 乳幼児の育ちと学び支援事業 <義務教育課>

31,640 千円

#### 【事業内容】

乳幼児期の教育及び保育の更なる質の向上を図るため設置した「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」を拠点に、保育者への研修や調査研究、幼児教育・保育施設に対する助言、情報提供等の施策を総合的に実施

#### 【取組の現状】

- 乳児保育専門研修（全2回：5月9日、6月1日）
- 特別支援教育・保育専門研修（全3回：5月19日、9月6日、9月8日）
- 乳幼児の育ちと学び推進協議会（全2回：7月6日、11月14日）
- 幼児教育アドバイザー等を10名に増員（スクールソーシャルワーカー3名を含む）  
新たに専門分野に係る幼児教育アドバイザーも配置

2,401千円

## 幼児教育の質の向上推進事業 <義務教育課>

### 【事業内容】

幼稚園教諭の資質能力の向上及び幼児教育の質の向上を図るため、幼稚園教諭免許状認定に係る講習を開催（全6講座）

### 【取組の現状】

幼稚園教諭二種免許状所有者が、一種免許状を取得するための幼稚園教諭免許法認定講習を開催し、延べ105人が受講予定

## 幼児教育充実事業 <義務教育課>

7,745千円

### 【事業内容】

質の高い幼児教育・保育の提供や保幼小連携の推進を図るため、乳幼児の育ちや学び、義務教育への円滑な接続等についての調査研究を実施

### 【取組の現状】

- 乳幼児期に育まれた資質・能力を踏まえて、小学校教育が円滑に行われるよう、保幼小連携に係る小学校教諭との合同研修会の開催等により、連携を推進
- 山口県架け橋期のカリキュラム開発会議（全3回：7月27日、9月9日、1～2月）
- 保幼小連携研修会（全3回：9月13日、10月27日、1月27日）

### 【課題及び今後の対応】

- 各私立幼稚園において特色ある幼児教育を実施していけるよう、支援を行っていく。
- 幼児の非認知能力や自己肯定感の向上に資するよう、ワークショップや体験プログラムの内容充実及び提供者のファシリテーション能力の向上が必要であるため、新たな時代の人づくりアドバイザーを活用し、更なる質の向上等を図るとともに、民間団体等の自主的・主体的な取組を推進する必要がある。
- 各種専門研修の開催や幼児教育アドバイザー等の派遣による、研修機会の拡大及び研修内容を充実するとともに、研修会のオンライン開催、講演のオンデマンド配信等の多様な研修形態による、研修会参加者の増加及び保育者の資質向上を図る。
- 乳幼児の教育及び保育によって育まれた「生きる力」の基礎（資質・能力）をその後の学校教育に円滑につなげ、長期的な視点により「志」を実現できるように、保幼小の連携による取組の在り方を見直す必要がある。

②若者がふるさと山口への理解を深めることができるよう、郷土の歴史や伝統・文化、先人たちの「志」と「行動力」等について学ぶ学校教育や学外活動プログラムを充実

やまぐちの未来を担うグローバルリーダー育成事業

＜政策企画課＞

9,300 千円

【事業内容】

高校生を対象に、鹿児島・高知・佐賀の高校生と交流しながら、他県の歴史や郷土の先人たちの「志」を学び、ふるさとの魅力を見つめ直すプログラム「薩長土肥連携青少年交流事業」を実施

日程・会場：10月8日～10日（2泊3日） 佐賀県

参加者：高校生 各県10名（計40名）

【取組の現状】

本県から10名が応募

やまぐち未来アカデミア

（セミナーパーク指定管理事業）＜政策企画課＞

（再掲）

【事業内容】

○まちづくりセミナー（10月29日開催）

小学4年生～小学6年生を対象に、地域づくりの身近な取組に触れ、自分たちができるまちづくりを考えるワークショップ等のプログラムを実施

○やまぐち志キャンプ（8月9日～10日、12月10日～11日開催）

小中学生を対象に、歴史遺産を活用したふるさと学習や、自然体験活動を通じた仲間づくり、講義、ワークショップ等のプログラムを実施

○やまぐち高校生ふるさと探究（9月17日～18日開催）

高校生を対象に、「明治日本の産業革命遺産」等を活用した、先人の「志」や行動を自分に置き換えて一步深く考えるふるさと学習や、山口県で活躍する先輩たちの講話やワークショップ等を通じたふるさとを見つめ直すプログラムを実施

【取組の現状】

○やまぐち志キャンプの参加者を募集し、36名が参加

○やまぐち高校生ふるさと探究の参加者を募集し、22名が応募

生涯学習推進体制整備事業 ＜地域連携教育推進課＞

7,906 千円

【事業内容】

山口県の先人に関する学習機会の充実を図るため、先人学習コーナー（セミナーパーク内）及びウェブページによる先人紹介コンテンツの提供や関係書籍の整備等を実施

【取組の現状】

セミナーパーク内の先人学習コーナーの管理・運営を行うとともに、Webページ「平

成の松下村塾」を活用し、先人学習情報等を発信

### 【課題及び今後の対応】

- 子ども・若者の発達段階に応じたふるさと学習プログラムとなるよう、地域資源を活用し、更なる内容の充実・質の向上を図る必要がある。
- 県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、引き続き、生涯学習情報や学習機会の提供など、生涯を通じて学び続けることができる環境づくりを推進する必要がある。

**③地域や社会が抱える課題を自ら発見し、他者と協働して解決する力や、主体的にキャリアを構築する力、グローバルな視野、A I等新しい技術を活用する力など、新たな価値を創造する力を育成**

**新** 次代を支えるデジタル人材育成事業 <デジタル政策課> 42,820千円

#### 【事業内容】

デジタル社会の実現に向けて全県的なデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進するため、官民のデジタル人材育成を推進

#### 【取組の現状】

- デジタル技術の活用に向けた「デザイン思考」で発想する人材の育成  
「やまぐちデザインシンキングカレッジ」の開催  
実施内容：①「オープニングイベント」(8月)  
②「ベーシックプログラム」(10月～12月)  
③「アドバンスプログラム」(11月～3月)  
対象者：県内企業・団体関係者、行政職員、学生、「デジテック for YAMAGUCHI」会員など
- 県民を対象としたA I学習プログラムの無料開放及びハンズオン勉強会  
「やまぐちA I Q u e s t」の実施  
実施内容：①「eラーニング講座」(通年)、②「ハンズオン勉強会」(7月～10月)  
対象者：「デジテック for YAMAGUCHI」会員の希望者
- 県内の企業・行政等が抱える課題の解決を通じた優秀なA I人材の発掘・育成  
「ワールドA Iコンペティション」の開催

**やまぐちの未来を担うグローバルリーダー育成事業<政策企画課> (再掲)**

#### 【事業内容】

自身を理解し郷土への誇りと愛着を持つローカルの視点と、多様な価値観や文化を理解・尊重するグローバルな視点を併せ持ち、他者と協働しながら地域や社会で活躍するグローバル人材の育成を目的としたプログラムを実施

- グローバル発見プログラム

日程・会場：7月31日オンライン、8月5日～7日セミナーパーク

参加者：小・中学生計20名（英検3級程度）

○グローバル探究プログラム

日程・会場：12月頃、オンライン（3時間×1回）及び対面キャンプ（2泊3日）

参加者：中学生・高校生計30名（英検2級程度以上）

**【取組の現状】**

グローバル発見プログラムの参加者を募集し、19名（うち小学生1名、中学生18名）が参加

**やまぐち未来アカデミア**

（セミナーパーク指定管理事業）＜政策企画課＞

（再掲）

**【事業内容】**

○やまぐち若者 MY PROJECT

高校生を対象に、県内大学生・若手社会人をメンターとして、課題解決ワークショップを実施

定期的にメンターとオンラインゼミを行いながらプランを深め、他校の生徒との交流を通じて自分たちの学び・成長につなげるプログラムを実施

やまぐち若者 MY PROJECT 参加者以外の探究活動を含めた全高校生を対象とした「やまぐち探究サミット（探究活動発表会）」を開催

日程：8月6日～7日：スタートアップキャンプ（6日：オンライン、7日：セミナーパーク）以降、プロジェクト実践に向けて随時開催

10月23日：ブラッシュアッププログラム（オンライン）

11月19日：リフレクションプログラム（オンライン）

2月 4日：やまぐち探究サミット（セミナーパーク）

3月：全国サミット

**【取組の現状】**

18校から55名の高校生、10名の大学生・社会人メンターが参加し、スタートアップキャンプを実施

**ものづくり企業におけるDX加速支援事業**

＜産業戦略部＞

69,000千円の一部

**【事業内容】**

県内ものづくり企業における生産性の向上や新たな付加価値の創出を促進するため、5GやAI等未来技術の導入・利活用や新たな製品・技術等の創出、高度な専門知識を持つ企業内人材の育成を支援

対象：県内ものづくり企業等担当者

内容：先進機器を活用した実践研修の実施や資格取得に向けた研修受講支援等

**【取組の現状】**

実証事業の参加企業を募集中

---

**データサイエンス活用推進事業**      **<新産業振興課>**      **5,700 千円**

---

**【事業内容】**

新ビジネスの創出や生産性向上につながるデータサイエンスの活用とそれを担うデータサイエンティストの育成が強く求められていることから、産学公連携によりデータサイエンスの活用を推進し、県内企業の技術力・研究開発力を強化

**【取組の現状】**

- 山口大学の「データサイエンス講座（マスター講座）」の社会人受講者を募集  
受講者のうち県内企業から受講推薦があった16名については、受講料を補助
- ビッグデータ解析等によるケーススタディは対象を募集中

---

**中小企業DX推進総合支援事業**      **<経営金融課>**      **18,656 千円**

---

**【事業内容】**

中小企業DX化の裾野の加速的拡大を図るため、フェーズに応じた切れ目ない支援を総合的に展開

**【取組の現状】**

- 経営層等向け研修  
日程：令和4年9月～11月（合計4日：全体研修3日+個別研修1日）  
定員：10社  
内容：DXに向けた現状把握、課題選定とDX戦略立案、実現のための人材要件検討、DX戦略ブラッシュアップ
- e-ラーニングによるDX基礎研修  
期間：令和4年8月1日（月）～令和5年2月28日（火）  
内容：DXに関する5つのコンテンツ  
①DXマインド編、②DXの基礎、③DX企画/提案の進め方  
④1から分かる、あんしん&納得の5G、⑤情報セキュリティ（3コースセット）

---

**地域雇用創造事業**      **<労働政策課>**      **19,900 千円**

---

**【事業内容】**

離転職者等のキャリアアップや職種転換を支援するため、民間事業者のノウハウを活用したIT分野等の職業訓練を実施

- 求職者のためのキャリアアップ支援  
・やまぐち技能・DX習得研修（4回、各回10日間、定員各回20人）

**【取組の現状】**

- 第1回（7月11日～7月25日、宇部市）
- 第2回（8月30日～9月12日、周南市）
- 第3回（9月5日～9月16日、宇部市）
- 第4回（10月11日～10月24日、周南市）

## やまぐちスマートスクール構想推進事業<教育情報化推進室>175,743千円

### 【事業内容】

- 時間と空間を超えた遠隔授業の実現  
海外の教育機関等とICT技術で結び、遠隔地に訪問することなく、交流体験や外国の文化等を学ぶことができる遠隔授業を推進
- ICT活用コンテスト・デジタルアートコンテストの開催  
県内の小・中・高校等におけるICT利活用の促進や活用スキル向上を図るため、ICT活用コンテスト及びデジタルアートコンテストを開催
- 高校生データサイエンティストの育成  
次代の山口県を担う高度IT人材を育成するため、高校生を対象としたデータサイエンティスト育成講座を開催（ステップアップ講座を新設）

### 【取組の現状】

- 時間と空間を超えた遠隔授業の実現
  - ・海外の学校との遠隔授業を支援するためのコーディネーターを配置
  - ・海外の学校との遠隔授業によるネイティブ・スピーカーとのディスカッションや臨場感のある文化交流を実施予定
  - ・海外の学校との遠隔授業には、15校が応募
- ICT活用コンテスト
  - ・ワークショップ開催日：8月7日、10月30日（県庁）
  - ・ワークショップ参加者人数：37名
  - ・作品応募期間：11月1日～12月4日
    - ①学習コンテンツ ②DXチャレンジアイデア ③DXチャレンジプログラム
  - ・メンター：北尾洋二氏（JOIN083大丸下関店-ジョイパレットCEO）
  - ・令和5年1月28日に最終審査会をやまぐちDX推進拠点Y-BASEで開催予定
- デジタルアートコンテスト（小・中学生も対象）
  - ・作品応募期間：11月1日～12月4日
    - ①イラスト ②ゲームDEアート ③その他 ④plus(+)プレゼン
- 高校生データサイエンティストの育成
  - ・基礎講座：高校生28名、高校教員14名応募  
開講式および第1回ハンズオンセミナーを、KDDI維新ホールで開催（7月24日）。今後、オンデマンド配信講座に加えて、全5回のハンズオンセミナーを実施（7月24日、9月11日、11月3日、12月18日、2月5日）、ハンズオンセミナー内でコンペティションを開催
  - ・ステップアップ講座：高校生5名、高校教員6名応募  
オンデマンド配信講座に加えて、全3回のハンズオンセミナーを実施（7月31日、9月4日、3回目の日程は未定）、ハンズオンセミナー内でコンペティションを開催



**東部地域グローバル人材育成事業 <高校教育課>**

93,985 千円

**【事業内容】**

日常的に外国人と接することが多い地域特性を生かして、「地域に存在する外国人や海外との交流を通じた地域活性化に関する教育活動」を実施することにより、地球規模・国際的（グローバル）な視点や経験を活かして、自分たちの地域（ローカル）社会に貢献する活動を行う「グローバル人材」を育成

**【取組の現状】**

参加者：県東部地域の県立高校生等 158 名

内容：オンライン英会話、グローバル探究（海外研修）、国際交流体験、グローバル・ラボ（ワークショップ等）の通年プログラム

**やまぐちハイスクールブランド創出事業 <高校教育課> 14,404 千円****【事業内容】**

「Society5.0 時代への対応」と「地方創生に資すること」ができる人材を育成するため、専門高等学校等で学ぶ生徒が、学科の枠を越え協働しながら起業体験活動や商品開発及びブランド化等、新たな価値の創造につながる教育活動を実施

**【取組の現状】**

- やまぐちスマートスクールポータルサイトに「山口県の産業教育／就職支援」を開設し、ブランドデザイン基礎・発展講座（テキスト・授業動画）を配信
- SNSを活用した模擬会社の経営に係る情報発信
- 商標権をもつ商標（統一マーク）を活用（商標登録第 6437234 号）した商品・サービスの開発

**生涯学習推進体制整備事業 <地域連携教育推進課> (再掲)****【事業内容】**

生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」において、関係機関と連携し、各種講座やリカレント教育等に関する登録情報を充実

**【取組の現状】**

生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」を運用し、大学をはじめとする様々な団体が実施する講座等の情報を提供

## 【課題及び今後の対応】

- 課題解決力や行動力を育成するため、人づくり推進ネットワーク等を活用して企業等との連携を強化する必要がある。
- 企業においてA I等未来技術の導入・利活用等が円滑に進むよう、企業ニーズを踏まえた人材育成支援に取り組む必要がある。
- 県内企業における生産性の向上や既存ビジネスの変革等を促進するため、経営者や求職者、就業者等に対してD X・I T分野に係る研修・訓練等を実施する必要がある。
- オンライン交流を推進するためのコーディネーターを活用し、海外の教育機関等との交流を行う学校を拡充させるとともに、交流内容を充実させる。
- 県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、引き続き、生涯学習情報や学習機会の提供など、生涯学び続けることができる環境づくりを推進する必要がある。

④障害がある者となない者が共に学ぶインクルーシブ教育システムの充実や、特別な支援を必要とする児童生徒へのきめ細かな対応等を進め、学びへの意欲を有する誰もが等しくチャレンジできる環境を整備

**新** 医療的ケア児支援センター運営事業 <障害者支援課> 5,869 千円

### 【事業内容】

医療的ケア児及びその家族その他の関係者に対する専門的な相談支援を行う地域の拠点として、医療的ケア児支援センターを設置し、医療的ケア児及びその家族又は関係者からの相談に応じ、情報の提供又は助言その他の支援を行うとともに、医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関等への情報の提供及び研修を実施

### 【取組の現状】

- 家族等からの相談に応じ、関係機関等との連絡調整を行う「山口県医療的ケア児支援センター」を県東部及び西部の2箇所に設置（R4.4）
  - ・4～7月の相談支援実績：東西センター計21件
- 医療、福祉、教育等の圏域内関係機関の連携強化を図るため、宇部・小野田及び長門圏域医療的ケア児支援連携会議を開催（6月30日、参加者35名）
  - ・今後、各圏域においても順次、開催予定
- 医療的ケア児等支援コーディネーター養成研修を12月頃に開催予定

**新** 医療的ケア児保育支援事業 <こども政策課> 27,450 千円

### 【事業内容】

医療的ケア児が、保育所等の利用を希望する場合に受入れが可能となるよう、保育所等の体制整備に対する支援を行い、医療的ケア児の地域生活支援を向上

### 【取組の現状】

医療的ケア児の受入れを行っている保育所等において必要な看護師の配置に要する経費等を支援

---

**新** 里親養育支援システム構築事業 <こども家庭課> 6,891 千円

---

**【事業内容】**

ICTを活用した「里親養育支援システム」を整備し、里親と子どものマッチング業務の効率化、オンライン研修による受講促進を通して、里親委託率の向上を推進

**【取組の現状】**

- 里親養育支援システムの整備とオンライン研修用の動画の作成について、委託先と調整中
- 里親のオンライン研修の受講が可能となる研修スペースの設置について、児童養護施設等に訪問説明を実施

---

**新** ヤングケアラー支援体制強化事業 <こども家庭課> 4,500 千円

---

**【事業内容】**

県内のヤングケアラーの実態を把握するとともに、県民の理解促進や関係機関の連携強化を図ることで、支援が必要な子どもを早期に発見し、適切な支援へつなげられる体制を整備

**【取組の現状】**

- 県内におけるヤングケアラー実態調査を7月に実施
- 県民の理解促進と関係者の研修を兼ねたシンポジウムを11月19日に開催予定

---

**新** 子どもの夢応援 大学等受験料補助事業 <こども家庭課> 10,000 千円

---

**【事業内容】**

大学等への進学を希望する子どもが、家庭の経済状況により進学をあきらめることがないように、受験料の一部を補助

**【取組の現状】**

低所得世帯の子どもの大学等の受験料を補助（上限3万5千円／人）

---

**新** 総合支援学校VR活用事業 <特別支援教育推進室> 3,487 千円

---

**【事業内容】**

総合支援学校の児童生徒一人ひとりの障害の状態に応じた個別最適な学びの実現と、児童生徒の「自立と社会参加」を促進するため、先進的な技術を導入

**【取組の現状】**

外部専門家及び現場実習先が連携し、オリジナルVR動画を作成中（重点取組校を中心に全12校へVRゴーグルを配置）

---

子育て支援のための私立高校生授業料等減免事業<学事文書課>92,720 千円

---

**【事業内容】**

高校段階における子育て支援として、私学の多様な教育を選択し、安心して学べる環境

づくりを推進するため、経済的な理由で就学が困難な生徒等を対象として授業料等の減免を行う学校法人に対する助成

**【取組の現状】**

私立高校生の授業料等の軽減事業に対する支援を実施

---

**私立高等学校等就学支援事業 <学事文書課> 40,085 千円**

---

**【事業内容】**

家庭の状況に関わらず、全ての意志ある私立高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、私立高校生等に対して授業料の一部（低所得世帯の生徒に対しては増額）を助成することにより、家庭の教育費負担を軽減

**【取組の現状】**

- 私立高校に再度入学し学び直す場合の授業料等の軽減事業に対する支援を実施
- 私立中学生の授業料の軽減事業に対する支援を実施

---

**難聴児支援推進事業 <障害者支援課> 5,178 千円**

---

**【事業内容】**

人工内耳、補聴器、手話等の言語・コミュニケーション手段の多様な状態像の難聴児に対し、早期かつ切れ目のない支援が行えるよう、福祉部局と教育部局が連携して難聴児への支援体制を整備

**【取組の現状】**

- 医療、福祉、教育等の関係機関及び当事者で構成する「県難聴児支援地域協議会」を設置（R4.6）
- 協議会を開催し、各分野の現状と課題等を共有の上、今後、実施する家族等支援業務内容について協議（第1回 6月30日、第2回 8月31日）

---

**子どもの居場所づくり推進事業 <こども家庭課> 56,958 千円**

---

**【事業内容】**

家庭や学校に次ぐ地域の居場所として、子どもたちに生活習慣の形成や学習支援、食事の提供等を行う「子どもの居場所づくり」の取組を支援

**【取組の現状】**

- 「子どもの居場所」の設置に向けた建物の改修や設備の整備を行う県内市町の取組を支援
- 子どもの生活を総合的に支援する「子どもの居場所づくり」の取組を行う県内市町の事業を支援

---

**教育ICT管理運営費 <教育情報化推進室> 103,168 千円**

---

**【事業内容】**

学習意欲のある通学が困難な児童生徒や障害のある児童生徒に対して、学びの機会を保障するため、自宅・病室等の学習者用端末と教室等にいる分身ロボットをネットワークで

接続し、遠隔授業を実施

**【取組の現状】**

- 総合支援学校において、全児童生徒への1人1台タブレット端末や通常の端末操作が困難な児童生徒への入出力支援装置を活用した教育を実施
- 分身ロボットを用いて、訪問教育対象児童生徒や入院等で通学ができない生徒に対して、遠隔授業を実施

---

**乳幼児の育ちと学び支援事業 <義務教育課>**

(再掲)

**【事業内容】**

再掲2頁

**【取組の現状】**

- 幼児教育・保育に共通した専門研修等を新設し、研修機会の拡大・研修内容を充実
- 幼児教育アドバイザー等を増員配置し、幼稚園・保育所等に助言

---

**インクルーシブ教育システム推進事業<特別支援教育推進室> 10,678千円**

**【事業内容】**

障害のある者と障害のない者がともに学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの構築に向けて、特別支援教育に係る体制整備を推進

**【取組の現状】**

- 総合支援学校や小・中学校等での通級による指導における自立活動の指導を適切に実施するため、ICTを活用した遠隔指導の手法について調査研究を実施
  - ・小学校1校、中学校1校、高等学校1校、総合支援学校3校をモデル校に指定
  - ・7月に第1回全体研究会議を開催(外部専門委員5名、各モデル校教員10名出席)
- 障害の重度・重複化、多様化に対応するための外部専門家(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等)を招聘できる体制を整備
- 市町教委と連携し、特別支援教育を担当する中堅教員の指導力向上に向けた研修会を開催
  - ・開催日、参加人数：第1回9月14日・第2回11月16日、47名
- 医療的ケアを必要とする児童生徒が校外学習に参加する機会を確保するため、看護師が同行して支援
- 総合支援学校高等部生徒の卒業後の自立や社会参加を促進するため、就職支援コーディネーターを配置し、現場実習先の確保や就職支援を実施
  - ・県内4校に4名を配置(田布施総支、山口南総支、宇部総支、下関総支)
  - ・令和4年度(4~7月)就職支援コーディネーターの企業等への訪問回数計247回

---

**いじめ・不登校等対策強化事業 <学校安全・体育課>**

159,711千円

**【事業内容】**

生徒指導上の諸課題に実効的に対応するため、外部専門家の配置や、関係機関との連携強化等により生徒指導・教育相談体制を充実

### 【取組の現状】

早期解決に向けた、SNS等を活用した相談体制や1人1台タブレット端末等を活用したオンラインによる相談・カウンセリング体制の拡大・充実

### 【課題及び今後の対応】

- 様々な家庭環境にある子どもたちを支援するため、引き続き、多様な学びや体験の場を提供し、地域における見守りを通じて、子どもの居場所づくりの取組を推進する必要がある。
- 障害のある児童生徒等の自立と社会参加を見据え、整備したICT機器等も効果的に活用しながら、それぞれの学びの場における各教科等の学習や交流及び共同学習の一層の充実を図っていく必要がある。
- 依然として深刻ないじめ・不登校等生徒指導上の諸課題については、その未然防止・早期対応に向けた教職員の資質向上の取組や、不登校児童生徒の学ぶ機会、および、子どもたちの居場所の確保・充実に向けた取組の推進を図る必要がある。

⑤ 1人1台タブレット端末等を活用した「やまぐちスマートスクール構想」の推進やコミュニティ・スクールに係る取組の一層の充実、県内高等教育機関それぞれの特色や強みを活かした機能分担と連携など、地域や時代のニーズに対応した、将来を見据えた教育環境づくりを推進

**新** 私立専修学校運営費補助事業 <学事文書課> 1,869 千円

#### 【事業内容】

地域における職業教育機関の中核として、地域産業を支える専門人材を多く輩出し、地域産業の発展や若者の県内定着に寄与している専修学校の充実強化を図るため、学校法人又は準学校法人が設置する私立専修学校に対して運営費の一部を補助

#### 【取組の現状】

私立専修学校の運営費の一部に対する支援を実施

大学等連携プラットフォーム運営事業 <学事文書課> 28,430 千円

#### 【事業内容】

県内高等教育機関、産業界等で構成する「大学リーグやまぐち」による県内進学や県内就職、地域貢献活動の促進に向けた取組の支援

#### 【取組の現状】

- 大学リーグやまぐちに設置する3部会（県内進学・魅力向上、県内就職、地域貢献）を中心に県内大学・高等専門学校等が連携した事業を実施
- 山口県版PBL（課題解決型学習）を県内8大学等（54テーマ）で実施

## 山口県立大学第二期整備事業 <学事文書課>

966,412千円

### 【事業内容】

施設の老朽化や狭隘な環境など、山口県立大学が、施設や環境面で抱えている課題の解消と、県民の生活に身近な分野における学術研究機能・人材育成機能等の強化を図るための施設を整備

### 【取組の現状】

令和4年4月に厚生棟（食堂等）を全面供用開始するとともに、1号館（本部管理棟）の建築工事を実施

## やまぐちスマートスクール構想推進事業 <教育情報化推進室>（再掲）

### 【事業内容】

全ての県立学校に導入した1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用して教育活動の一層の充実を図るため、個別最適な学びに向けた基盤整備やICTの日常的な活用への支援、デジタル人材の育成等を推進

### 【取組の現状】

- 2校の県立学校を「やまぐち教育DX推進校」に選定し、タブレット端末を効果的に活用した「生徒の学び方」、「教員の教え方」、「教職員の働き方」の3つの改革の推進について、モデル事業を実施
- 学校へのICT支援員の定期訪問及びヘルプデスクやICT支援員サポート機能を備えたやまぐちスマートスクール運営支援センターを設置
- 海外の学校との遠隔授業による新たな学びの場を創出するためのコーディネーターを配置
- 次代の山口県を担う高度IT人材を育成するため、高校生を対象としたデータサイエンティスト育成講座を開催（ステップアップ講座を新設）

## 教育ICT管理運営費 <教育情報化推進室>

（再掲）

### 【事業内容】

児童生徒にICTを活用した新たな学びの機会を提供するため、ICT機器や学校のネットワーク環境を整備

### 【取組の現状】

ICT機器の適切な管理やデジタル教材の充実、ICTを活用して、通学できない児童生徒に対する学習を保障

## 産業教育設備整備費 <学校運営・施設整備室>

100,000千円

### 【事業内容】

県内産業を支える人材を育成するため、専門高校等に地域産業の特徴や県内企業のニーズを踏まえた実験・実習設備を整備

### 【取組の現状】

- 年度末までに装置の調達・整備を完了予定  
コンピュータ（防府西、厚狭）、万能材料試験機（柳井商工、小野田工業）、  
普通旋盤（南陽工業）、シャーリングマシン（徳山商工）ほか

## 県立学校施設整備事業（高校再編整備・教室不足対策）

＜学校運営・施設整備室＞ 1,312,421 千円

### 【事業内容】

再編整備の対象となった新高校において、より質の高い高校教育を提供できるよう、必要な施設・設備の整備を実施

児童生徒の増加に伴い、教室不足が生じている特別支援学校において、教室不足を解消し教育環境の改善が図られるよう、必要な施設・設備を整備

### 【取組の現状】

- 生徒の多様な学びのニーズに応える山口松風館高校の開校（令和4年4月）  
○廃校施設を利用した教室不足対策として、豊浦総合支援学校の旧響高校移転に向けた基本・実施設計や関連工事を着手

## 学びに向かうやまぐちっ子育成推進事業 ＜義務教育課＞ 33,116 千円

### 【事業内容】

個別の学力の定着状況等の蓄積（学びの履歴）や、採点・集計業務の効率化を進め、児童生徒の学力定着状況に応じた指導や授業の充実を図るため、山口県学力定着状況確認問題をC B T（Computer Based Testing：コンピュータを使用した調査）で実施

### 【取組の現状】

実施日：10月17日～10月21日、10月24日～10月28日

対象者・教科：県内公立小学校5・6年 国語、算数

県内公立中学校1年 国語・数学、2年 国語・数学・英語

## 県立高校将来構想推進事業 ＜高校教育課＞ 813 千円

### 【事業内容】

特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備を主な内容として令和3年度に策定した「第3期県立高校将来構想」を、学校の関係者、これから高校に入学してくる小・中学生とその保護者、地域の方々に広く周知するため、冊子とリーフレットを作成して配布・説明

### 【取組の現状】

市町教育委員会をはじめとする公的機関や学校などに冊子とリーフレットを配布

## やまぐちハイスクールブランド創出事業 ＜高校教育課＞（再掲）

再掲9頁

## やまぐちで学ぶ！高校教育魅力向上事業 ＜高校教育課＞ 3,328 千円

### 【事業内容】

従来の学校における学びに加え、学校や学年にとらわれない多様な学びを提供すること



により、これからの予測困難な社会の中で主体性をもって生きていく力を育成するとともに、本県高校教育の更なる魅力向上を推進

#### 【取組の現状】

「ニューフロンティアセミナー」及び「ドリカムゼミ」に参加する生徒を募集し、県立高校等の生徒24人を受講生徒に決定

##### ◆「ニューフロンティアセミナー」(全5回)の実施

対象：県立高校生1～3年(各学年30名程度、合計90名程度)

内容：「人口減少」や「地方創生」等をテーマとして大学教授等による講義・演習、大学生とのディスカッション、高校生同士で議論したり、自分の考えを表現したりするセミナーを実施

実施日：8月6, 7, 22日、10月15日、11月19日、3月23日

##### ◆「ドリカムゼミ」の実施(全5回)

対象：県立高校生1, 2年生(各学年30名程度、合計60名程度)

内容：1人1台タブレット端末を活用し、ハイレベルな講義・演習(言語能力、数学的思考力等)を実施

実施日：8月17日、9月17日、10月29日、12月10日、1月5日

**地域教育力日本一推進事業 <地域連携教育推進課> 77,635 千円**

---

#### 【事業内容】

学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する本県ならではの地域連携教育の一層の充実に向けた取組を推進

#### 【取組の現状】

- 各市町の地域連携に係る会議や研修機会の主体的開催を促進
- 活動推進の核となる人材が必要な知識・技能等を身に付ける「地域協育ネットコーディネーター養成講座」、「家庭教育アドバイザー養成講座」等の実施
- 中学校区における統括コーディネーター等に対して地域学校協働活動推進員の委嘱を促進(R3.6:152人⇒R4.6:329人)
- 家庭教育支援チームの設置促進(R3.6:51チーム⇒R4.6:53チーム)
- 5つのモデル中学校区においてPTAと連携した家庭教育支援の調査研究を継続実施

**育ちや学びをつなぐコミュニティ・スクール推進事業**

**<地域連携教育推進課> 8,724 千円**

---

#### 【事業内容】

全ての公立小・中・高等学校・総合支援学校等に導入されたコミュニティ・スクールの仕組みを生かし、義務教育段階で育んだ子どもたちの資質・能力を高校につなげていく本県ならではの地域連携教育の推進とコミュニティ・スクールの活性化の促進

#### 【取組の現状】

- 学校と地域の連携・協働体制の構築に向けたコーディネート等を行う「コミュニティ・スクール活動推進員」を希望した県立高校(29校)に配置

○総合支援学校と小・中・高校等のコミュニティ・スクールが連携した交流、共同学習の推進及び「協育サポーター」による学校と地域の日常的な交流の活性化

## 生涯学習推進体制整備事業 <地域連携教育推進課>

(再掲)

再掲9頁

### 【課題及び今後の対応】

- 山口県立大学について、大学が担うべき人材育成・研究拠点機能のあり方等を取りまとめた「山口県立大学将来構想」に基づき、時代や社会の変化に対応した学校づくりを推進する必要がある。
- 整備した学校のICT環境を効果的に活用して教育活動を一層充実させるため、教員のICT活用指導力の向上やICT活用機会の創出を図っていく必要がある。
- 障害のある児童生徒等の自立と社会参加を見据え、整備したICT機器等も効果的に活用しながら、それぞれの学びの場における各教科等の学習や交流及び共同学習の一層の充実を図っていく必要がある。
- 最新のデジタル化対応産業教育装置の使用に必要なプログラミング技術の習得や地域と連携しながらの実践的な実習を行う。
- 中学校の進路指導担当者を対象とした会議や、中学生、保護者等を対象とした説明会を開催し、「第3期県立高校将来構想」について周知を図る。
- 「第3期県立高校将来構想」の方向性に沿った実施計画の策定を検討する。
- これからの予測困難な社会の中で、高校生が主体性をもって生きていく力を育成するとともに、本県教育の更なる魅力向上を図る。
- 学校・学科の特色や専門性を生かした高校ならではのコミュニティ・スクールの取組を一層推進するため全県的なコーディネート体制を構築する必要がある。
- 学校教育と社会教育の一体的な推進により、子どもたちの学びや育ちを家庭や地域・社会と横につなぐ取組と、義務教育段階で育んだ子どもたちの資質・能力を高校等と縦につなぐ「校種間連携」の2つの取組の充実を図っていく。
- 県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、引き続き、生涯学習情報や学習機会の提供など、生涯学び続けることができる環境づくりを推進する必要がある。
- 県立博物館や山口図書館等における、デジタル技術を活用した展示物や電子図書館サービスの更なる充実により、文化資源の鑑賞機会や読書や学習等の機会の拡大を図る。

⑥教職員の資質能力の向上や、新たな学びの視点を取り入れた教育プログラムの研究・開発を行うなど、新たな時代に向けた人づくりの推進体制を強化

**新** 新たな時代の人づくり協働推進事業 <政策企画課> 3,050 千円

**【事業内容】**

民間団体等が「推進方針」に沿って、学校や企業等と連携・協働して行う人づくりの取組に対する立ち上がり支援を実施。

- 民間団体等が行う取組に対する支援 補助金10/10 上限50万円
- 人づくり推進ネットワーク会員への取組周知・マッチング 等

**【取組の現状】**

補助対象事業6件（15件申請）

私学教職員研修補助金 <学事文書課> 929 千円

**【事業内容】**

私立幼稚園、私立中学・高校及び私立専修学校・各種学校の教職員の資質向上を図るため、山口県私立中学高等学校協会、公益財団法人山口県私立幼稚園協会及び一般社団法人山口県専修学校各種学校協会の実施する教職員研修事業への助成

**【取組の現状】**

上記3団体において、15回（受講者数415名）の研修を実施

保育人材スキルアップ支援事業 <こども政策課> (再掲)

**【事業内容】**

再掲2頁

やまぐちスマートスクール構想推進事業 <教育情報化推進室> (再掲)

**【事業内容】**

県立学校のICT化が急速に進む中、教員がICTを普段使いできるようにするため、国の基準に基づき、教員に対する各種支援や環境整備、校内研修等を行うICT支援員を学校へ配置するとともに、ヘルプデスクやICT支援員サポート機能を備えたやまぐちスマートスクール運営支援センターを設置

**【取組の現状】**

- 県立学校に週1回程度ICT支援員を派遣し、学校のICT化全般を支援
- 「やまぐちスマートスクール運営支援センター」を設置し、ヘルプデスクによる問合せや端末の故障等への対応、学校へのサポート要員の派遣、ICT支援員への研修等を実施

**教職員等研修事業 <教職員課>**

24,249 千円

**【事業内容】**

教職員のキャリアステージに応じた基本研修に加え、職能や課題に応じて資質能力の向上を図るリーダー養成研修やキャリアアップ研修等を実施

**【取組の現状】**

- やまぐち総合教育支援センターにおいて、教員のICT活用指導力の向上のため、ICT活用に関する演習・協議を取り入れた教科研修等を実施
- ミドルリーダー育成のためのリーダー養成研修や管理職研修において、独立行政法人教職員支援機構（NITS）山口大学センターと連携した講座を実施

**ICTを活用した新たな学び推進事業 <教職員課>**

15,061 千円

**【事業内容】**

ICTを積極的に活用したPBLやSTEAM教育等、新たな視点を取り入れた教育プログラムを活用した探究的な学びを各学校で実践するための研修を実施

**【取組の現状】**

- PBL体験研修  
日程・会場：7月4・5日、やまぐち総合教育支援センター  
対象：高校教員34人
- 教育プログラム普及研修  
日程・会場：8月5日、セントコア山口  
対象：小学校・中学校教員（各市町1人ずつ）

**乳幼児の育ちと学び支援事業 <義務教育課>**

（再掲）

再掲2頁

**幼児教育の質の向上推進事業 <義務教育課>**

（再掲）

再掲3頁

## 【課題及び今後の対応】

- 人づくりの取組が全県的に拡大するように、引き続き、民間団体等の学校や企業等と連携・協働して行う自主的・主体的な取組の推進が必要である。
- 各私立学校における教職員の資質能力向上に向けた取組に対し、私学団体と連携し支援を行っていく。
- 独立行政法人教職員支援機構（NITS）山口大学センター等と連携しながら、研修講座の一層の充実により、キャリアステージに応じた教職員の資質能力向上を図ることに加え、研修を通して「新たな学びの視点」を取り入れた教育プログラムの普及を図っていく必要がある。
- 各種専門研修の開催や幼児教育アドバイザー等の派遣による、研修機会の拡大及び研修内容を充実するとともに、研修会のオンライン開催、講演のオンデマンド配信等の多様な研修形態による、研修会参加者の増加及び保育者の資質向上を図る。
- 乳幼児の教育及び保育によって育まれた「生きる力」の基礎（資質・能力）をその後の学校教育に円滑につなげ、長期的な視点により「志」を実現できるように、保幼小の連携による取組の在り方を見直す必要がある。

## (2) 若者の県内定着の促進

### ①若者の県内就職に向けた取組、大学生・企業のニーズに沿ったインターンシップ、「大学リーグやまぐち」との連携を推進

#### 大学等連携プラットフォーム運営事業 <学事文書課>

(再掲)

##### 【事業内容】

県内高等教育機関、産業界等で構成する「大学リーグやまぐち」による県内進学や県内就職、地域貢献活動の促進に向けた取組の支援

##### 【取組の現状】

- 「山口きらめき企業の魅力発見フェア（J o bフェア）」（11月23日、維新百年記念公園維新大晃アリーナ）を開催予定
- 県西部ミニJ o bフェア（6月24日、下関市立大学）を開催、県東部ミニJ o bフェア（11月7日、周南公立大学）を開催予定

#### 高度産業人材確保事業 <産業戦略部>

10,039 千円

##### 【事業内容】

県内産業の振興に必要な高度専門知識を有する産業人材の確保を図るため、奨学金返還補助制度を実施するとともに、併せて県内就職をサポート

- 募集対象・定員：理系大学院生（修士課程1年）又は薬学部生（5年）・25名
- 事業内容：対象者の県内就職サポート（就職ガイダンス・企業見学会等）

就業実績に応じた補助金の交付

補助内容：奨学生が大学院等修了後に県内の製造業又は情報サービス業に従事した場合、就業期間に応じ、奨学金の返還額を補助

**【取組の現状】**

- 県内製造業や情報サービス業（R3追加）への就職を希望する理系大学院生及び薬学部生を対象とした奨学金返還補助制度の新規対象者募集（定員25名）
- 対象学生への県内企業見学会(オンライン)等を実施予定

**若者県内定着促進事業 <労働政策課>**

37,271 千円

**【事業内容】**

大学生等を対象に、県内企業におけるインターンシップを総合的に推進するとともに、スマートフォン向けアプリやVR映像の活用により、県内企業の魅力情報を効果的に発信するなど、若者の県内企業等への就職・定着を促進

**【取組の現状】**

- インターンシップの推進
  - ・受入先企業の新規開拓や学生と県内企業とのマッチングを行うコーディネーターを配置
  - ・インターンシップ参加への支援
- 県内就職情報の効果的な発信
  - ・利用者のニーズに応じた就職情報等を閲覧・利用できるスマートフォン向けアプリ「ぶちエエやまぐち！就職アプリ」の運用及び普及を実施
- 県内企業の魅力情報発信
  - ・VR企業見学サイト「MIRANAVI（ミラナビ）」による情報発信
  - ・オンラインとオフラインを組み合わせた県内企業の魅力情報発信イベントを開催

**県外人材県内就職促進事業 <労働政策課>**

69,437 千円

**【事業内容】**

県外大学との就職支援協定による連携の強化等により、県内就職を促進

**【取組の現状】**

- 県外就職支援協定締結大学との連携強化
  - ・大学内で直接学生に県内企業の魅力情報を発信する場「山口デー」を開催
  - ・協定校就職支援担当者と県内企業採用担当者による意見交換会を開催（8月30日オンライン）
  - ・保護者を対象とした県内企業講演会や就職ガイダンスを開催（12月17日）
  - ・企業の若手社員との交流会及び県内就職への意識を高めるためのセミナーを開催
- 企業との出会いの場の創出・就職支援
  - ・県外就職説明会を開催（東京：9月17日、大阪：9月13日）

## やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業

＜高校教育課・特別支援教育推進室＞

44,126千円

### 【事業内容】

「ガイダンスの充実」、「求人開拓の強化」、「マッチングの促進」を3つの柱とし、高校生の主体的な県内就職を促進

### 【取組の現状】

- 就職相談から求人開拓、マッチングまでを総合的に行う就職サポーター等を22人配置し、生徒との個別面談の中で地元企業情報を提供
- 県内企業情報の分析、連携機関との窓口の一元化、広域マッチングなどを行うことを目的に、県内就職促進統括マネージャーを1名配置し、組織的な就職支援を実施
- 県内就職促進の取組として、早い段階から県内企業の魅力や県内就職の良さを学校の教員や生徒・保護者が理解する取組を強化
- やまぐちスマートスクールポータルサイトに「山口県の産業教育／就職支援」を開設し、就職支援に係るコンテンツを掲載
  - ・オンラインによる就職の面接試験等のポイント等をまとめた動画を配信（生徒用）
  - ・県内企業説明動画（122社）を配信
  - ・県内企業への理解促進に向け、Web版「山口県の工業」（商政課作成）のリンクを貼付
  - ・労働法制等に関する理解の深化に向け、「これってあり？まんが知って役立つ労働法Q&A」（厚生労働省作成）のリンクを貼付

### 【課題及び今後の対応】

- 将来の地域産業を担う人材を育成するため、地域や地元企業と連携した実践教育・就業体験等を一層充実させ、実践力、課題を探究する力、コミュニケーション能力等の育成を図るとともに、地域産業への理解を深めさせることが必要である。  
また、県内就職比率の向上や高度専門知識を有する産業人材の確保に向けて、地域産業や県内企業の魅力に対する理解を深める取組等、ガイダンスや支援制度の充実とマッチングの促進が一層必要である。

## ②若者の職場定着に向けた研修やセミナー、キャリアカウンセリングを推進

山口しごとセンター管理運営事業 ＜労働政策課＞ 184,289千円の一部

### 【事業内容】

山口しごとセンターを中心として、関係機関と連携しながらキャリアカウンセリングやセミナーを核とした、個別相談から情報提供、能力開発、職業紹介に至るきめ細かなサー

ビスをワンストップで提供することにより、県内就職の支援に加え、県内企業の産業人材の確保を促進

**【取組の現状】**

- キャリアカウンセリング等を実施（就職後の相談もカウンセラーが個別に対応）
- 就職支援セミナーを実施

**やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業 <高校教育課> 2,324 千円**

**【事業内容】**

県内の大学・短期大学・専修学校等の魅力やよさについて高校生等の理解を深めるため、県内大学等の情報発信・魅力発信と、高校生等の進路指導を一体化して実施

**【取組の現状】**

「県内大学魅力体験サポート」事業を実施

- ・県立高校等を対象に、県内大学等と連携した取組や県内大学等のオープンキャンパスへの参加促進など、高校生が県内大学等の魅力や良さについて理解を深める取組として実施
- ・各学校から提出された実施計画書に基づき、本年度の実施校として「県内大学等を高校生等が訪問する取組」12校、「大学生等が高校等に訪問する取組」3校を決定

**【課題及び今後の対応】**

- 若者の県内定着を促進するため、引き続き、若者に対するきめ細やかなキャリアカウンセリングやセミナー等を実施していく必要がある。
- 本事業を県内のより多くの県立高校等へ広げるため、昨年度から県内大学等とオンラインで繋がる取組を新設・募集しているが、この取組については学校からの応募がないという状況である。オンライン環境を活用した取組は、コロナ禍においても比較的实施しやすい形態であると考えられるため、各学校に積極的に周知を図るなど、活用を促進していく必要がある。

**③高校生が主体的な選択により行う県内大学等への進路選択を支援するため、県と大学等との連携強化や高大連携による相互交流を推進**

**大学等連携プラットフォーム運営事業 <学事文書課> (再掲)**

**【事業内容】**

県内高等教育機関、産業界等で構成する「大学リーグやまぐち」による県内進学や県内就職、地域貢献活動の促進に向けた取組の支援

**【取組の現状】**



- 県内大学・専修学校・高等専門学校等のオープンキャンパスマップをデジタルブックで作成し、高校生等に向けて配信（6月1日）
- 「県内進学・仕事魅力発信フェア」（令和5年2月14日、維新百年記念公園維新大晃アリーナ予定）の開催を支援

### 【課題及び今後の対応】

- 「大学リーグやまぐち」等を通じ、県内大学等が特色や強みを活かした魅力の向上に連携して取り組むとともに、高校生が県内大学等の魅力や良さに理解を深めるための取組を推進する必要がある。

## (3) 教育環境の整備・充実

- ①児童生徒が安心して学習やその他の活動に取り組むことができるよう、いじめの未然防止や早期発見・早期対応、相談・支援体制を充実

### 不登校児童通所指導事業 <こども家庭課>

276 千円

#### 【事業内容】

不登校等の状態にある児童及びその保護者を、児童相談所に通所させ、児童相談所の児童福祉司、児童心理司等及び非常勤の心理士、作業療法士等が、年齢に応じた生活指導、心理療法、作業療法等を実施し、児童の自主性、社会性の向上を支援

#### 【取組の現状】

不登校等の状態にある児童等の通所指導を実施（8回開催予定）

### いじめ・不登校等対策強化事業 <学校安全・体育課>

（再掲）

再掲13頁

### 思春期グローイングハートプロジェクト事業

<学校安全・体育課>

20,136 千円

#### 【事業内容】

全公立学校において、心の専門家であるスクールカウンセラー（SC）により、いじめ等の未然防止に向けた心の教育（心理教育プログラム）を実施

#### 【取組の現状】

- 全ての公立学校にSCを年2回（1回4時間）派遣
- 1人1台タブレット端末等を活用したオンラインによる相談・カウンセリング体制の拡充・充実
- 早期解決に向けた、SNS等を活用した相談体制の拡大・充実

## 【課題及び今後の対応】

○依然として深刻ないじめ・不登校等生徒指導上の諸課題については、その未然防止・早期対応に向けた教職員の資質向上の取組や、不登校児童生徒の学ぶ機会、および、子どもたちの居場所の確保・充実に向けた取組の推進を図る必要がある。

②子どもたちの豊かな学びを支える教育環境を充実し、持続可能な指導・運営体制の構築を図るため、学校における働き方改革を推進

### 統合型校務支援システム管理運営費・学校管理指導費

＜教育情報化推進室・教職員課＞

50,560 千円

#### 【事業内容】

教員の長時間勤務の是正を図るため、「統合型校務支援システム」導入による校務の効率化を推進するとともに、ＩＣカード等による勤務時間管理や留守番電話の運用等により勤務体制等を改善

#### 【取組の現状】

- 統合型校務支援システムの特別支援学校への導入に向けて業者等と調整を行うとともに、小中学校への導入に向けて、山口県統合型校務支援システム共同調達・共同利用推進協議会を設置し、システムの調達、構築及び運用に係る検討や、導入に向けたスケジュールの調整等を実施
- 全県立学校にＩＣカード等、留守番電話、緊急用携帯電話を整備し、運用中

### 教員業務支援員配置事業 ＜教職員課＞

40,700 千円

#### 【事業内容】

教員の長時間勤務を是正し、学校の指導・運営体制のさらなる充実を図るため、学校の事務的業務を補助する「教員業務支援員」を配置する市町を支援

#### 【取組の現状】

教員業務支援員を14市町132校（小学校71校、中学校61校）に配置

### やまぐち部活動応援事業 ＜学校安全・体育課＞

23,215 千円

#### 【事業内容】

技術指導が困難な運動部活動等に対し、専門的な指導や大会への引率等を行う部活動指導員を配置し、部活動の活性化を図るとともに、顧問教員の負担を軽減

#### 【取組の現状】

部活動指導員を9市町40校82名（中学校）、26校32名（県立学校）に配置

## 【課題及び今後の対応】

- 統合型校務支援システムの小中学校への早期導入に向けて、市町教委と連携して取り組んでいく。
- 教育職員の業務量を、時間外在校等時間の上限時間である、1か月45時間、1年360時間の範囲内となるよう、適切に管理するとともに、令和3年7月に改訂した「山口県 学校における働き方改革加速化プラン」に沿った取組を進めていく。

## ③再編整備を踏まえた施設の長寿命化・防災機能の強化による安心・安全な学校づくりや、コロナとの共存を前提とする「新たな日常」等に対応した教育環境の整備を推進

### 私立学校耐震化促進事業 <学事文書課>

12,533 千円

#### 【事業内容】

子どもの命を守り、地域の避難所としても機能する私立学校の施設について、学校法人の実施する耐震化対策を促進し、防災対策を強化

#### 【取組の現状】

私立学校施設の耐震化を促進するために、耐震補強・改築工事等への支援を実施  
(学校の耐震化率 私立中学・高等学校:92.1%、私立幼稚園・認定こども園:93.5%)

### 県立学校施設整備事業 (長寿命化、耐震対策等)

<学校運営・施設整備室>

723,242 千円

#### 【事業内容】

施設の長寿命化や、外壁など非構造部材の耐震対策、新型コロナウイルス感染症対策としての空調設備を設置

#### 【取組の現状】

- 県立学校施設について「長寿命化計画」に基づく改修等を実施
- 県立学校施設の外壁改修等の非構造部材の耐震対策を実施
- 県立高校の家庭科特別教室に空調設備を設置
- 市町立学校の耐震化の完了に向け、引き続き積極的な働きかけを実施  
(公立学校の耐震化率 県立学校:100%、市町立小中学校:98.7%、市町立幼稚園:97.6%)

### 学校安全総合推進事業 <学校安全・体育課>

4,442 千円

#### 【事業内容】

「防犯を含む生活安全」「交通安全」「災害安全(防災)」の3領域において、学校・家庭・地域・関係機関が一体となった学校安全の取組等を実施

### 【取組の現状】

大学等の専門家と連携した学校防災に係る研修会を実施するとともに、日時等を事前に告げない避難訓練の実施に向けた普及啓発を実施

### 【課題及び今後の対応】

- 安心・安全な学校づくりに向けて、引き続き、学校等施設の耐震化を推進する。
- 県立学校施設について、長寿命化計画に基づく予防保全的な維持管理の取組が必要である。
- 教育環境の質の向上に向けて、空調設備の更なる設置など、必要な施設整備を推進する。